

松 山 大 学 論 集
第 31 卷 第 1 号 抜 刷
2 0 1 9 年 4 月 発 行

「喜多方レトロ横丁」における
企画の概要とその変遷

池 本 淳 一

「喜多方レトロ横丁」における 企画の概要とその変遷

池 本 淳 一

概 要

本論は『喜多方レトロ新聞』及びイベントの案内マップである『喜多方レトロ横丁徹底攻略図』を主な資料に、福島県喜多方市の「喜多方レトロ横丁」における企画の概要とその変遷について明らかにしたものである。加えてこれらの概要と変遷から、喜多方レトロ横丁がそのテーマを「昭和 30 年代」から「レトロ」へと拡大してきたこと、観光客のみならず家族客をもターゲットにしていること、そして喜多方における各種資源の継承・発展の場となってきたことを指摘した。

はじめにー市民主体の大規模地域イベントとしての 「喜多方レトロ横丁」

福島県喜多方市は江戸時代は農業と商業で、明治以降は工業でも栄えた会津盆地のまちであるが、1970 年代中期以降は「蔵のまち」として、1990 年代以降は「喜多方ラーメン」のまちとして多くの観光客を集め、2000 年代からはアーティストや大道芸人によるパフォーマンスイベント「喜多方発 21 世紀シアター」、太極拳の交流イベント「太極拳フェスティバル」をはじめとする地域イベントが盛んとなった。なかでも会津喜多方商工会議所が主催し、多くの市民が関わる「喜多方レトロ横丁」（以下、「レトロ横丁」）はレトロをテーマに、2005 年の夏以来、メインストリートである「ふれあい通り商店街」を中

に開催されている歩行者天国イベントである（各回の開催日時は表1を参照のこと）。現在（2019年3月19日）までに14回開催されており、その継続性と規模の点からも、現在の喜多方を代表するイベントの一つとなっている。

本論はこのレトロ横丁における各企画の概要と14年におよぶ変遷を主に以下の一次資料を用いて整理し、レトロ横丁のイベントとしての性格がどのように変容しつつあるのかを確認していくことで、今後のレトロ横丁研究における基礎資料とするものである。

『広報きたかた』

喜多方市発行の広報誌。2005年7月～9月に開催された、JR東日本による会津地域を対象とした観光キャンペーン企画「あいづディステーションキャンペーン」（あいづDC）に関する記事が豊富である。なお引用のさいには「広報 発行年月：引用ページ」（No.は省略）と記載した。

表1 レトロ横丁の開催日時

回	開催日時
第一回	2005年7月23日(土)17時～21時, 24日(日)9時～17時
第二回	2006年8月5日(土)12時～21時, 6日(日)9時～17時
第三回	2007年7月28日(土)12時～21時, 29日(日)9時～17時
第四回	2008年7月26日(土)12時～21時, 27日(日)9時～17時
第五回	2009年7月25日(土)12時～21時, 26日(日)9時～17時
第六回	2010年7月17日(土)12時～21時, 18日(日)9時～20時
第七回	2011年7月23日(土)12時～21時, 24日(日)9時～17時
第八回	2012年7月21日(土)12時～21時, 22日(日)9時～17時
第九回	2013年7月13日(土)12時～21時, 14日(日)9時～17時
第十回	2014年7月19日(土)12時～21時, 20日(日)9時～17時
第十一回	2015年7月18日(土)12時～21時, 19日(日)9時～17時
第十二回	2016年7月16日(土)12時～21時, 17日(日)9時～16時
第十三回	2017年7月15日(土)12時～21時, 16日(日)9時～16時
第十四回	2018年7月14日(土)12時～21時, 15日(日)9時～16時

『会議所だより』

会津喜多方商工会議所発行の機関紙。月刊。毎月1日発行。本論では主にあいづ DC 時の取り組み及び毎回のレトロ横丁の開催報告に関する記事を使用。なお引用のさいには〔会議所 発行年月：引用ページ〕（号数は省略）と記載した。

喜多方レトロ横丁『チラシ』『ポスター』及び『喜多方レトロ新聞』『喜多方レトロ横丁徹底攻略図』

会津喜多方商工会議所発行。『ポスター』『チラシ』は第一回から制作されており、第三回からは『チラシ』裏面に「めにゅー」「お品書き」等の名称で、13前後のイベントや企画の概要が紹介されるようになった。『喜多方レトロ新聞』（以下『レトロ新聞』）は第二回から発行されている、レトロ横丁の企画や見所を紹介するパンフレットである。『喜多方レトロ横丁徹底攻略図』（以下、『攻略図』）はこの『レトロ新聞』の最終面に掲載されている会場マップであり、各企画の開催場所とその概要が一覧できるものである（ただし第一回のみ2005年6月に発行された『会議所だより』（第419号、4項）及び『広報きたかた』（No. 748、19項）掲載）。なお『レトロ新聞』は第二～四回までは表面が喜多方レトロ横丁のパンフレット、裏面が『攻略図』となった両面1枚の配布物であったが¹⁾、第五回からは『喜多方レトロ新聞』という名称となり、4ページ（第十回のみ8ページ）の印刷物となった。

なおこれらの資料はレトロ横丁開催以前に制作・配布されているため、本論においてこれらを用いて検討した企画はすべて企画段階のものである。それゆえ当日の実際の実施状況については別稿にて改めて論じることとする。また各企画の概要については、各回の『レトロ新聞』を中心に記述した。

本論ではこれらの資料から引用するさいには〔第～回新聞～面〕〔第～回攻

1) これら第二～四回のパンフレットが当時、どのように呼ばれていたかは未確認であるが、本論では便宜上、これらも『喜多方レトロ新聞』と呼ぶこととする。

略図〕〔第～回チラシ〕〔第～回ポスター〕と記載した。また表1はこれらの資料をもとに作製したものである。

『平成17年度福島県あいづデスティネーションキャンペーン事業 喜多方レトロ横丁 ～昭和30年代ヘタイムスリップ～』

会津喜多方商工会議所作成の発表資料（以下、『商工会議所資料』）。パワーポイントで作成されたと思われる本資料をプリントアウトしたものを商工会議所より提供して頂いた。第一～三回までの経緯や各企画のねらいが簡潔にまとめられている。

加えて、第十三、十四回のレトロ横丁での筆者によるフィールドワークの成果も適宜取り入れつつ、本論ではこれらの資料を用いて各企画の概要と変遷を描いていく。

1 「レトロ横丁」開催の経緯

それでは、まずはレトロ横丁が開催された経緯から見ていこう。『商工会議所資料』によれば、レトロ横丁はもともと、あいづDCの一環として開催された新人発掘オーディション「きたかたサウンドチャレンジ」（以下、「サウンドチャレンジ」）の前夜祭として企画されたという。表2は『広報きたかた』No. 744（2005年2月発行，19項），No. 745（2005年3月発行，17項），No. 749（2005年7月発行，14項）を元に、あいづDC関連の企画・イベントをまとめたものである。この表からも「サウンドチャレンジ」本選が7月24日であり、レトロ横丁がその前日7月23日と当日24日に開催されていたこと、そしてレトロ横丁が数あるあいづDC関連企画の一つであったことが確認できる。

なおこれらのあいづDC関連のイベントの多くが、「観光協会に入会されている方や、各方面の民間の方々を中心となって組織された」〔広報2005. 1：8〕、あいづDCの「喜多方地区推進委員会」〔広報2005. 1：8〕によって企画され

表2 あいづ DC 関連の企画・イベント

企 画 名		開 催 期 間
喜多方の地酒限定発売		7月1日～9月30日
喜多方名物朝ラー		7月1日～9月30日
未公開蔵を楽しむ		7月1日～9月30日
蔵の街ライトアップ		7月1日～9月30日
仏都会津・まほろば券ツアー		7月1日～9月30日
案内人と行く「仏都会津」		7月1日～9月30日
長床大しめなわ架け替え		7月2日
慶徳稲荷神社田植神事		7月2日
喜多方ラーメン食べ歩き大会		7月3日, 9月25日
ザ・蔵シック2005		7月5日
きたかたサウンド・チャレンジ05(予選)		7月10日
喜多方レトロ横丁		7月23日～24日
喜多方蔵菓子横丁		7月23日～9月30日
あいづソーデーウォーク		7月23日
きたかたサウンド・チャレンジ05(本選)		7月24日
安野光雅の世界展		7月23日～28日
蔵シックあんどんギャラリー		7月中
喜 多 方 夏 まつり	北宮諏訪神社祭礼	8月2日～3日
	出雲神社祭礼	8月10日～11日
	創作花火大会	8月12日
	会津磐梯山庄助踊り	8月14日
	太鼓台競演	8月15日
スタンプ蔵めぐり		8月6日～15日
美蔵紀行		8月6日
熊野神社長床奉納能楽会		8月7日
喜多方発21世紀シアター		8月7日～10日
小沼念仏撰取講		8月30日
太々神楽		9月9日
蔵の街アートぶらりー		9月23日～10月2日
蔵してる通りフェスティバル		9月24日
熊野神社長床の篝火演奏会		9月25日

たものである。またこの委員会結成を告知する記事には「【問い合わせ先】 商工観光課観光振興室」[広報 2005. 1: 8] とあることから、この委員会は行政側の呼びかけで結成したと思われる。

一方、『会議所だより』掲載の「今は懐かし昭和 30 年代の 縁日と喜多方蔵菓子横丁で 中心市街地へ活気！」[会議所 2005. 2: 1] と題された記事を見ると、会議所ではこの「推進委員会の事業を具体化する組織」[会議所 2005. 2: 1] として、「JR あいづデスティネーションキャンペーン」特別委員会」[会議所 2005. 2: 1] を結成し、当初は以下の事業を進めていくことで民間側からあいづ DC をサポートしようとしていたことがわかる。

昭和 30 年代の縁日再現

日本中が活気にあふれていた昭和 30 年代の昔懐かしい縁日を商店街で再現し、訪れた観光客や地域の方々に古き良き時代を体験してもらう。

喜多方菓子横丁（仮称）の開催

喜多方の菓子職人が作る地元ならではのお菓子などを観光客に提供し味わってもらう。

[会議所 2005. 2: 1]

その後、この縁日再現は「昔懐かしい昭和 30 年代をキーワードとした空間を創出し、市民はもとより観光客の方々に当市の古き良き時代を体験してもらい、魅力ある観光資源の再発掘を目的と」[会議所 2005. 4: 4] する「喜多方レトロ横丁」[会議所 2005. 4: 4] として展開していった。なお喜多方菓子横丁（仮称）は翌月の『会議所だより』に、あいづ DC の「受け入れ事業として、喜多方レトロ横丁の開催、喜多方菓子蔵横丁事業、TMO 構想事業の推進などを決定」[会議所 2005. 5: 1] とあることから、「喜多方菓子蔵横丁」として、レトロ横丁と並行して展開していったことがわかる。また表 2 を見ると、喜多方菓子蔵横丁（表では「喜多方蔵菓子横丁」）はレトロ横丁と同じく 7 月 23 日

に開始されたものの、あいづ DC が終了となる 9 月 30 日まで常設されていたことも確認できる。

このような経緯で開催されたレトロ横丁であるが、『商工会議所資料』によれば、2 日間の延べ人数で第一回は約 5.5 万人、第二回は 12 万人、第三回は 15 万人を集める大規模イベントとして成長を続けていったという。そして第四回以降は「蔵のまち喜多方夏まつり」のオープニングイベントとして、喜多方の夏を告げる地域イベントとなっていく。

2 恒 例 企 画

それでは続いて、各企画の概要と変遷を確認していこう。レトロ横丁では第二回以降、毎回 50 前後の企画が実施されているが、まずはその中でも長寿企画や人気企画など、レトロ横丁を代表する恒例企画について見ていこう。

表 3 は毎回の『攻略図』を元に、それらの恒例企画が企画されていた回を「□」で示したものである。なお『攻略図』を見ると、回により企画名がやや異なる企画（例：「頑固親父の遊び塾」と「頑固親父・お転婆娘の遊び塾」）も見られたが、同一内容と判断したものは一つの企画としてまとめて表記した。また表では企画数の合計も示しているが、すでに存在していた企画同士のコラボレーション企画や、内容や名称が若干変更されたものの、基本的に以前の企画と同様であると判断した企画（例えば「福島民報社提供懐かし新聞記事プレゼント」に後続する「福島民報社記念日新聞コーナー」など）はこの合計に含めていない（合計に含めた企画については「○」を付した）。なお以下の表 7～14 についても同様に作成した。それではこの表 3 を参照しつつ、これらの概要と変遷を確認していこう。

「想ひ出の七夕飾り」（第一～十四回）は「市内の幼稚園や保育園、学校、企業等が製作した個性溢れる手作りの七夕飾り」[会議所 2006. 9: 1] を、ふれあい通りの道の両脇に立て並べることで、華やかな七夕飾りのトンネルを作りだすレトロ横丁の名物企画である。表 4 は毎年の『会議所だより』に記載され

表3 恒例企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 想ひ出の七夕飾り	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 七夕飾りフリー短冊ゾーン			□	□	□									
○ ゆかたで歩きま Show	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 頑固親父・お転婆娘の遊び塾	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
○ 道路に落書きしちゃおう！ 頑固親父・お転婆娘の遊び塾&落書き			□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		□
○ 子どもチャレンジランキング											□	□	□	□
○ 懐かしの巨大映画看板！	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 昭和レトロ MENU／学校給食&昭和グルメ					□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 昔懐かし本格！お化け屋敷		□	□			□		□		□				
○ 恐怖の館「パーラーゾンビ」											□			
○ 恐怖のお化け屋敷												□	□	□
○ 福島民友新聞社提供懐かし街頭 TV		□	□	□										
○ 福島民報社提供懐かし新聞記事プレゼント 福島民報社記念日新聞コーナー		□	□	□	□	□	□	□	□	□		□	□	□
○ レトロモーター Show	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 懐かしスロット Car 体験コーナー				□	□									
○ レーシングカー展示コーナー					□									
○ Always 三丁目の青春					□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 名車完全復元「初代クラウン」特別展示													□	□
○ レトロボンネットバス展示													□	□
○ 乗すたるじいミニ SL／機関車／新幹線	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ メルヘン！ プラレールの国					□	□	□	□						
○ 喜多方鉄道館日中線記念ミュージアム					□	□	□	□	□	□	□	□		
○ 日中線&鉄道ミュージアム													□	
○ はじめよう！鉄道模型「Nゲージ」 日中線&鉄道ミュージアム&Nゲージ							□	□	□	□	□	□		□
○ 喜多方そろばんレトロ塾		□	□	□	□	□								
○ 学校ミュージアム 懐かしの学校&そろばんミュージアム								□	□	□		□	□	□
○ 地酒屋台「醸し家」										□	□	□		
○ 喜多方 SAKE 万国博覧会													□	□
○ 巨大迷路「昭和の迷宮大冒険」									□	□				
○ レトロ DE ナイトフィーバー										□	□	□	□	□
○ 真夏の決戦！SED 青空プロレス											□	□	□	□

表 4 七夕飾りの概数

回	1	2	3	4	5	6	7
本数	約150	記載なし	約200	約150	約120	約150	約100
回	8	9	10	11	12	13	14
本数	約100	約100	約90	約100	記載なし	約100	記載なし

[会議所 2005. 9 : 2, 2006. 9 : 1, 2007. 9 : 1, 2008. 9 : 1, 2009. 8 : 1, 2010. 8 : 1, 2011. 8 : 1, 2012. 8 : 1, 2013. 8 : 1, 2014. 8 : 1, 2015. 8 : 1, 2016. 8 : 1, 2017. 8 : 1, 2018. 8 : 1] より作成

た七夕飾りの概数をまとめたものであるが、第一～六回までが 150 本前後、第七回以降でも 100 本前後と、無数の七夕飾りがレトロ横丁に寄せられていることがわかる。この七夕飾りは『チラシ』などで「昭和 30 年代中頃まで実際に市内で開催され市民を楽しませていました」[第十四回チラシ]と紹介されているように、喜多方のかつての習慣を現代に「復活」させたものとされている。それゆえこの七夕飾りは、圧倒的なスケールで見慣れた商店街を「レトロ横丁」に代えていく空間演出のみならず、過去と現代の喜多方を繋ぐ歴史的な架け橋であり、まさにレトロ横丁の象徴とも言える企画である。

「ゆかたで歩きま Show」(第一～十四回)は会津喜多方商工会議所女性会による、浴衣のレンタル及び着付けの企画である。この「貸出浴衣と帯は、当会会員より借用したものと、市内外より快くご提供頂いたもの」[会議所 2011. 8 : 2]であり、第十二回までは無料、それ以降は 500 円(小学生以下無料)[第十三回新聞二面]でレンタルでき(ただし下駄のレンタルはなし)、その場でプロの着付師や美容師による着付けやヘアアレンジも受けられる。なお『会議所だより』を確認すると、第七回時には「2 日間で約 400 名もの着付け」[会議所 2011. 8 : 2]が行われたとあり、毎年多くの浴衣姿の来場者を生み出していることがわかる。この企画により「艶やかな浴衣に着替えた来場者は『凜』とした風情で会場を散策し下駄の音色を響かせ」[会議所 2007. 9 : 1]でおり、レトロ横丁はまるで本物の縁日のような雰囲気に包まれることとなる。

「頑固親父の遊び塾」(第一～三回)「頑固親父・お転婆娘の遊び塾」(第四～十三回)(以下「遊び塾」)は、ベーゴマや竹とんぼ、おはじきやお手玉、そしてチョークでの地面への落書きといった昭和の遊びや、カブトムシ相撲大会や紙相撲大会、水鉄砲大会や竹馬りレーなどの大会を体験・参加できる企画である。またレトロ新聞に「普段は頼りない父ちゃんもこの日だけはヒーローだ。」[第六回新聞三面]「昔遊びなら父ちゃんに任せよう!」[第七回新聞三面]と紹介されているように、親、特に父親と子どもがともに遊べる企画としても人気である。

「道路に落書きしちゃおう!」(第二～十三回)は、その名の通り道路に落書きができる企画であるが、第六回以降は「遊び塾」近くスペースで行われるようになり、第十四回には「頑固親父・お転婆娘の遊び塾&落書き」として「遊び塾」との合同企画となった。

「子どもチャレンジランキング」(第十一～十四回)は「傘バランス」「空き缶積み」「豆玉うつし」[第十一回攻略図]などの競技に子どもたちが挑戦する企画であるが、当初から「遊び塾」とのタイアップ企画として隣接ブースにて開催されており、こちらも多くの子どもたちを楽しませている。

「懐かしの巨大映画看板!」(第一～十四回)は、往年の名画やスターが描かれた巨大な看板である。第一回の看板の大きさは不明であるが、毎回の『攻略図』の記述によれば、第二～三回までは幅6m・高さ4m、第四回以降は幅約10m・高さ4mとまさに「巨大」であり、レトロ横丁を象徴するオブジェと言えるだろう。

「昭和レトロMENU体感ブース」(第五～七回)及び「学校給食&昭和グルメ」(第八回～十四回)は「地域応援団体「あいべ」」[第五回新聞三面]が「昭和年代当時の物価を体感してもらおうと昭和レトロセットメニューを限定で販売」[第五回新聞三面]する企画である。表5は第五～十四回の『レトロ新聞』及び『攻略図』を元に、各回のメニュー、セット価格、限定数をまとめたものであるが、いずれも懐かしい昭和のメニューが並んでいる。またコカコーラは

表5 メニュー・価格・限定数一覧

回	メニュー	価格(円)	限定数
第五回	コロッケ, コカコーラ, かけうどん	150	120
第六回	コロッケ, コカコーラ, かけうどん	150	500
第七回	コロッケ, コカコーラ, ソフト麺(カレー味)	150	500
第八回	ハムカツ, コカコーラ, ソフト麺(カレー味)	200	500
第九回	コロッケ, コカコーラ, ソフト麺(ミートソース味), 揚げパン	300	500
第十回	魚肉ソーセージ・ちくわの天ぷら, コカコーラまたはコーヒー牛乳, ソフト麺(カレー味)	200	500
第十一回	ハムカツ, ソフト麺(カレー味), コーヒー牛乳, 冷凍みかん	200	500
第十二回	ハムカツ, バヤリースオレンジジュース, ソフト麺(カレー味)	300	500
第十三回	メンチカツ, コーヒー牛乳, ソフト麺(カレー味)	300	400
第十四回	メンチカツ, コーヒー牛乳, ソフト麺(カレー味)	300	400

190 ml の瓶ボトル, ソフト麺は給食で定番の「懐かしいアルミ製のお盆」[第十二回新聞三面] で提供されるなど, 細部まで昭和のグルメへのこだわりが見える企画でもある。

「昔懐かし本格! お化け屋敷」(第二, 三, 六, 八, 十回) は「靖国神社御霊まつり」[第三回チラシ] などでも興行を手掛ける専門業者によるお化け屋敷である。こちらは有料企画であり, 入場料は第二回が前売券 500 円・当日券 700 円 [第二回ポスター], 第三回が 700 円 (中学生以下 500 円) [第三回新聞表面], 第六回が 500 円 (中学生以下 300 円) [第六回新聞一面], 第八, 十回が 500 円 (高校生以下 300 円) [第八回新聞一面] [第十回新聞三面] であったが, いずれも未就学児は無料であった。この「プロの興行師による手作りの仕掛けは恐ろしくも大人気となり終日客足が途切れなかった」[会議所 2014. 8: 1] ものの, 第四, 七, 九回には実施されず, 第十回で最後となった。しかし第十一回は「市民有志による洋風お化け屋敷」[第十一回新聞三面] である「恐怖の館「パーラーゾンビ」」が, 第十二回以降は「喜多方地方若人振興会やんべ」による「やんべ神社」(第十二回)「やんべの城」(第十三回)「妖怪大戦争」(第十四回) といった手作りのお化け屋敷が行われ, こちらも大変な人気を博

している。ちなみに第十一～十四回の『レトロ新聞』を確認すると、これら市民によるお化け屋敷の入館料は第十一～十三回が大人 300 円（高校生以下 200 円）、第十四回が大人 500 円（高校生以下 200 円）であり、いずれも未就学児無料となっていた。

「福島民報社記念日新聞プレゼント」（第二～十回）「福島民報社記念日新聞コーナー」（第十一～十四回）では、「生年月日や結婚記念日など好きな年月日をリクエストするとリクエストした年月日当時の福島民報一面紙面記事」[第九回新聞三面]が第十回までは無料、第十一回からは1枚100円で提供され、「レトロで行列が出来るほど好評を博している」[第九回新聞三面]企画である。また第二～四回には「福島民友新聞社提供懐かし街頭TV」という企画も行われており、同社がレトロの演出にも貢献していたことがわかる。

「レトロモーター Show」（第一～十四回）は、ビンテージカーやクラシックカーを会場の一角で展示する企画である。さらにレトロ横丁の1日目と2日目のオープニング時、会場搬入を兼ねて、そのオーナーたちの運転するレトロカーが駐車場から喜多方市各所を経て展示場所まで行進する「レトロカーパレード」は、レトロ横丁の始まりを告げる名物企画となっている。この企画には驚くほど多くのレトロカーが参加しており、たとえば今年の第十四回では「2日間で延べ約100台のレトロカーが集結」[会議所2018.8:1]していた。また第十二回の『レトロ新聞』には「16日約30台・17日約80台」[第十二回新聞二面]とあることから、2日目の日曜日の方がより多くのオーナーが参加していることもわかる。

この他、レトロカーに関わる企画としては、レトロモーター Show 会場に隣接したスペースに「本格コース全長40m」[第三回攻略図]が敷かれた「懐かしのスロット Car 体験コーナー」（第三、四回）、「地元出身 F1 レーサーを目指す小山圭氏の協力により実現！マッハ GOGOGO 仕様特別車両も展示」[第四回攻略図]された「レーシングカー展示コーナー」（第四回）、「昭和20年代のオート三輪やメグロバイクなど貴重過ぎる車輛を展示」[第十四回攻略図]している

「Always 三丁目の青春」（第五～十四回）, 「福島トヨタ自動車が約1年かけて修理・復元して話題となった1962年（昭和37年）式の初代クラウン（RS31型）」[第十三回新聞一面]の展示企画「名車完全復元「初代クラウン」特別展示」（第十三, 十四回）, 「現在も定期路線運行されている広田タクシーレトロボンネットバス」[第十四回攻略図]が展示される「レトロボンネットバス展示・公開」（第十三, 十四回）などもあり, 来場者の注目を集めている。

「乗すたるじいミニSL」（第一～三回）「乗すたるじいミニ機関車」（第四～七, 九～十四回）「夢の超特急ミニ新幹線」（第八回）は, 「地元で時計修販店を営む近秦照氏」[第五回新聞三面]による, ミニ機関車に搭乗できる企画である。このミニ機関車は「約100年前の石油発動機車を同氏が忠実に再現したスケールモデルで, その精巧な造りと音は本物しながらで, マニアをも唸らせる」[第五回新聞三面]出来栄であり, 「ミニ機関車は全長150mという長さもあって親子連れを中心に2日間で千名を超える乗客があった」[会議所2008.9:1]とあるように, こちらもレトロ横丁の人気企画となっている。なお表6は第一～七, 九～十四回『攻略図』及び第八回（三面）, 第九回（三面）, 第十回（五面）の『レトロ新聞』に記載されていたミニ機関車の距離と料金をまとめたものであるが, 毎回, 会場にかなりの距離の線路が敷かれていたことがわかるだろう。

表6 ミニ機関車の距離と料金

回	1	2	3	4	5	6	7
距離(m)	全長 約230	全長 約150	全長 約70	全長 約150	全長 約150	全長 約150	全長 約200
料金	不明	一回200円	無料	片道200円	一回200円 二回300円	片道200円 往復300円	往復300円

回	8	9	10	11	12	13	14
距離(m)	片道 約200	往復 約300	往復 約200	往復 約200	往復 約200	往復 約200	往復 約200
料金	片道200円 往復300円	往復300円	一回300円	一回300円	一回300円	一回300円	一回300円

この他、鉄道関係の企画には以下のものもある。「メルヘン！プラレールの国」（第五～八回）は「プラレールやトミカを中心とした個人收藏品による展示走行会」[第五回新聞三面]であり、「自分で所有しているプラレールを持ち込めば専用コースで走らせることが可能」[第五回新聞三面]な企画であった。「はじめよう！鉄道模型「Nゲージ」」（第七～十三回）は鉄道模型の「「Nゲージ」のジオラマ展示や操縦・運転体験が出来る」[第七回新聞三面]企画であり、第九、十回は「川口ポポ鉄倶楽部の協力により、鉄道模型ジオラマ6車線の展示」[第九回新聞三面]も行われた。「日中線記念ミュージアム」（第五～八回）「喜多方鉄道館日中線記念ミュージアム」（第六～十二回）は、かつて喜多方駅から伸びていた支線「日中線」に関するミュージアムであり、「日中線記念館に残る思い出の品々や日中線を追い続けた市内写真家による作品」[第五回攻略図]などが展示されていた。なお近年では、これらの企画は第十三回の「喜多方鉄道館日中線&鉄道ミュージアム」、第十四回の「日中線&鉄道ミュージアム&Nゲージ」のように、他の鉄道系企画とのコラボレーションが盛んとなっている。

「喜多方そろばんレトロ塾」（第二～六回）は「昔懐かしい木製の机と椅子…そんな学校教室を再現した」[第五回新聞三面]スペースの中で、「喜多方珠算連盟所属の先生がそろばんの手解きをしてくれる」[第五回新聞三面]企画であり、「そろばん早組み立て競争」[会議所 2006. 9: 1]や「読めそうで読めない漢字クイズやぬり絵など」[第五回新聞三面]のイベントも実施されていた。この企画は第六回で終了となったものの、第八～十回開催の企画「甦る少年時代！学校ミュージアム」の解説には「少年時代に学んだ学校教室を再現。懐かしい木製の机と椅子に座って思いを馳せよう。」[第八回攻略図]とあることから、この「そろばんレトロ塾」の学校教室が引き継がれたと思われる。さらに第十一～十四回には「懐かしの学校&そろばんミュージアム」が企画され、レトロ横丁にソロバンの音を響かせ続けている。

「地酒屋台「醸し家」」（第十～十二回）「喜多方 SAKE 万国博覧会」（第十三、

十四回)は、喜多方の地酒をテーマにした企画である。喜多方市は「世界最大規模のコンテスト IWC (インターナショナル・ワイン・チャレンジ) 2014 の SAKE 部門にて金・銀・銅の各賞を受賞するなど当市の日本酒の品質と製造技術は世界レベル」[第十回新聞四面]であり、「人口約5万人に対し11もの酒蔵が銘酒を醸す酒処」[第十一回新聞二面]でもある。「地酒屋台「醸し家」はこの酒処・喜多方にちなみ、「酒造りの道具や昔懐かしいホーロー看板などを展示、酒造り文化に触れるとともに市内各蔵元の自慢の銘酒を堪能できる」[第十回新聞四面]企画であり、「極上の酒ワンコインコーナー」「日本酒カクテル BAR」「利き酒大会」「マス積み大会」[第十回新聞四面]などの日本酒と日本酒にちなんだ大会も堪能できるものであった。また「喜多方 SAKE 万国博覧会」では一升瓶を積み上げて作った「喜多方新名物日本酒タワー」[第十三回新聞二面]もお目見えし、レトロ横丁の新たなシンボルとなりつつある。なお第十二回以降の新聞を見ると、これらの企画の記事には「お好きな日本酒 3 杯 500 円」とあり、手軽に飲み比べが楽しめることがわかる。また第九、十回には「巨大迷路「昭和の迷宮大冒険」」も設営されたが、これは「喜多方建設業組合の協力により実現するもので、酒処喜多方らしく酒箱を積み上げて制作するオリジナル迷路」[第九回新聞二面]であり、「幅 20 m×奥行 8 m のオリジナル迷路には、2 日間で 1000 人を超える入場」[会議所 2013. 8:1]となった。

「レトロ DE ナイトフィーバー」(第十～十四回)はディスコ風に飾られた蔵施設や空き店舗にて「懐かしの音楽とミラーボールの照明で昭和 50 年代の夜を体感できる」[第十回新聞三面]企画である。DJ は喜多方市塩川町出身の「RYUHEI THE MAN」が担当とあり、「地元出身の人気 DJ が奏でるノスタルジックな音楽は、サタデーナイトフィーバーを彷彿とさせ、当時のディスコを知る世代も若年層も音楽に身を委ね、軽快なダンスを披露し」[会議所 2015. 8:1]、レトロ横丁の一角にバブリーな夜を生み出している。なおこの企画は昼間も「子ども向けに DJ 体験や映像で振り返る年代別音楽」[第十回新聞三

面] や「子供向けアニメソングディスコや DJ 体験, 昭和バブリーダンス教室」[第十四回新聞三面] などで来場者を楽しませている。

「真夏の決戦! SED 青空プロレス」(第十~十四回) は、レトロ横丁に特設リングを設置して行われる SED による試合企画である。この企画はいわゆる現代的なプロレス興行であるが、第十回新聞に「街頭テレビと`力道山。」というコラムが掲載されているように、レトロ横丁ではプロレスを「昭和」を連想させるスポーツと位置付けて開催していた。なお SED とは「S・安全に (Safty), E・楽しく (Enjoy), D・喜んでもらう (Delight) の頭文字から成り、福島市を拠点とする団体、2003 年に旗揚げし、県内を中心に興行を行っている」[第十回新聞四面] アマチュアプロレス団体であり、「所属レスラーは普段建設会社やスーパーマーケット、資材メーカーや青果店、団体職員として勤務しており (笑) 忙しい身ではあるものの喜多方レトロ横丁のために夢の対戦カード」[第十回新聞四面] をひっさげてやってきたという。『レトロ新聞』を確認すると、毎回、二日目の日曜日、午後1時から試合が行われており、第十、十一回は3試合、第十二、十三回は4試合、第十四回は5試合が組まれていた。筆者も第十三、十四回の試合を見学させていただいたが、試合が始まるとリングの周りに人だかりができるほどの人気企画であった。しかし SED の HP に「2018 年 12 月 16 日に「通算 100 大会記念興行」を開催し、興行活動を休止しました。」[SED アマチュアプロレス 2019. 3. 28 閲覧] とあるように、この新たな人気企画は第十四回で惜しまれながらのフィナーレとなった。

以上がレトロ横丁の恒例企画である。続いて「レトロ横丁らしさ」を醸し出す企画を見ていこう。

3 ノスタルジー系・ミュージアム系企画

レトロ横丁はレトロをテーマにしたイベントであり、ノスタルジーを呼び起こすような企画が豊富であるが、それらの企画をまとめたものが表7である。

レトロ横丁の元々のコンセプトの一つが「縁日の再現」であり、縁日と言え

表7 ノスタルジー系企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 諏訪神社御飯屋 御飯屋「レトロ神社」&巨大鳥居	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
○ レト露店	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 昔懐かし楽し緑日ゾーン				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 喜多方菓子蔵横丁	<input type="checkbox"/>													
○ 懐菓子マーケット			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 駄菓子屋「ばんちゃ店」			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ 映画上映会（喜多方菓子蔵横丁）	<input type="checkbox"/>													
○ シネマ広場 復活！「銀座座」映画館			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ 懐かし子どもアニメ塾 懐かし子どもアニメ塾&ゲームミュージアム						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 映画ミュージアム			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
○ 映画看板&ポスターミュージアム								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 昔懐かし「よろずや」		<input type="checkbox"/>												
○ 昔懐かし紙芝居			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
○ 手焼きせんべい体験コーナー ドン菓子・手焼きせんべい体験コーナー			<input type="checkbox"/>											
○ 無料！ドン菓子コーナー						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
○ 昔懐かしの冷凍みかん販売コーナー											<input type="checkbox"/>			

企画合計 16

ば神社が欠かせない。それゆえレトロ横丁では第一回から会場に「諏訪神社おかりや」が建てられていた。なお「諏訪神社」とはレトロ横丁が開催されている「ふれあい通り」近くの「北方諏訪神社」のことである。この「おかりや」は第二回以降、「市神社」「レトロ神社」と名称を変えつつも、「巨大鳥居」とともに第九回まで設営され、長らくレトロ横丁のシンボルとして親しまれた。

「レト露店」（「懐かしの緑日コーナー「レト露店」」（第一回）「レト露店・懐かし写真ゾーン」（第二回）「懐かし緑日レト露店」（第三回～十四回））はいわゆる露店のコーナーであり、筆者が参加した第十三、十四回では現在のお祭りでもよく見かけられるような屋台が並ぶゾーンとなっていた。

「昔懐かし緑日ゾーン」（第四～七回）「昔懐かし楽し緑日ゾーン」（第八～十

四回)も縁日をイメージした企画であるが、こちらは射的や輪投げ、コルク銃やスーパーボール掬いなど、縁日の遊戯を楽しめる企画となっている。

「喜多方菓子蔵横丁」(第一回)はいづ DC 当時、レトロ横丁と並ぶ事業であったが、第一回の『攻略図』を確認すると、レトロ横丁では「本場菓子製造元による懐かし菓子販売」「昭和の茶の間復元」[第一回攻略図]のほか、「昭和の懐かし映画上映会(23日のみ)」「懐かし本ギャラリー喫茶」「蔵シックビアホール」[第一回攻略図]などの各企画もこのスペースで実施されており、本論ではこれら「昭和の懐かし映画上映会」「懐かし本ギャラリー喫茶」「蔵シックビアホール」は独立した企画として扱うこととした。

「駄菓子屋「ばんちゃ店」」(第二～五回)は「子供の頃、学校帰りに必ず寄り道したおばあちゃんの駄菓子屋」[第四回攻略図]をコンセプトとする駄菓子の販売企画であり、水飴の無料配布も行われた。なおこの企画は第二回時には東邦銀行駐車場及びしもなん駐車場の2カ所の駐車場スペースで行われたが、第三回からは「遊び塾」内のスペースで行われるようになった。

「シネマ広場 復活!「銀星座」映画館」(第二～五回)は「映画看板や映画ポスターを配したゲートが再現され」[会議所 2006. 9:1]、昭和の名画を視覚的にも体験できる映画上映企画であった。なお「銀星座」とは「喜多方市にかつて実在した銀星座・文映・シバタ演劇の3つの映画館」[第五回新聞二面]のうちの一つであり、それゆえこの映画上映も七夕や後述するレトロ仮装行列同様、喜多方の伝統を現代に「復活」させた企画と言えるだろう。

「懐かし子どもアニメ塾」(第六～八回)はこの「シネマ広場」を引き継ぐ上映企画と思われるが、上映されるのは「子どもの頃、食事も勉強もそっちのけで、父ちゃん、母ちゃんの言うことも聞かずに夢中でテレビに釘付けになったアニメ」[第七回新聞三面]やドリフターズなどの「伝説となったコメディ番組」[第七回新聞三面]であった。なおこの企画は第九～十一回には「懐かし子どもアニメ塾&ゲームミュージアム」となり、「昔テレビに釘付けになったアニメや夢中になった懐かしいテレビゲームでいっぱい遊んじゃおう!」[第

九回攻略図」というコラボレーション企画となった。

「映画ミュージアム」（第二，三回）も映画系企画の一つであるが，短命に終わっている。ただし第八回から第十四回まで「1枚1枚が手描きの懐かし名作映画看板や各種ポスターを展示」[第八回攻略図]する「映画看板&ポスターミュージアム」が開設されており，ここに映画系企画が引き継がれたようである。

そのほかにも，「昔懐かし紙芝居」（第二～五回）や「今では懐かしい雑貨や玩具の特設販売コーナー」[第二回攻略図]である「昔懐かし「よろずや」」（第二回），「手焼きせんべい体験コーナー」（第二回），「ドン菓子・手焼きせんべい体験コーナー」（第三，四回），「無料！ドン菓子コーナー」（第五，六回），「昔懐かしの冷凍みかん販売コーナー」（第十一回）などの企画が，レトロ横丁にノスタルジックな雰囲気を生み出している。

これらノスタルジー系企画のほかにも，レトロ横丁には懐かしの品々や喜多方にゆかりの深い品々を展示する「ミュージアム」や「ギャラリー」と呼ばれる企画が数多くある。これらはしばしば「ミュージアムこそが喜多方レトロ横丁の原点であり，核となるイベント」[第八回新聞二面]と称されるように，レトロ横丁に「レトロさ」を生み出す基盤となっているが，これらミュージアム系企画をまとめたのが表8である。

「レトロミュージアム1号館」（第一回）「昭和レトロミュージアム」（第四～十三回）及び「レトロミュージアム2号館」（第一回）「昭和レトロミュージアム2号館」（第五～九回）はミュージアム系企画の中心であり，またその母体となった企画である。両館はもともと第一回において「「昭和30年代へタイムスリップ」のコンセプトのもと，ふれあい通り内の空き店舗や空き蔵等を活用し，昔懐かしい品物を集め展示」[会議所2005.6:4]した企画であり，その収蔵品の多くは喜多方市民から事前に募集したものであった[会議所2005.4:4]。その後，第二，三回には「生活雑貨ミュージアム」が開催されたが，第三回翌年の2008年4月18日からはこの生活雑貨ミュージアムは「昭和レトロ

表8 ミュージアム系企画

[illegible]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 春日八郎メモリアルブース					□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
○ 自転車ミュージアム								□	□	□	□	□		
○ レトロ洋服店ギャラリー												□	□	□
○ 地方の元気再生事業「蔵並みギャラリー」					□									
○ 激レアお宝ミュージアム&軽食処							□							
○ 竹久夢二ミュージアム								□						
○ 蔵の写真&生活雑貨ミュージアム									□					
○ 瓜生岩子ミュージアム									□					

企画合計 38

ミュージアム」としてリニューアルされ、レトロ横丁期間中のみならず、ふれあい通りの一角で常設展示されるようになった〔会議所 2008. 5:1〕²⁾

一方、「昭和レトロミュージアム 2号館」も第五回から再開されたものの、第十回からは「昭和レトロミュージアム 2号館を全面改装し、喜多方ラーメンにとことん特化した施設」〔第十回新聞一面〕である「喜多方ラーメン神社&ラーメンミュージアム」がオープンした。この「喜多方ラーメン神社&ラーメンミュージアム」（第十～十四回）は、「昭和初期からの喜多方の発展を支えた喜多方ラーメンの歴史や美味しさの秘訣を紹介した資料展示」〔会議所 2014. 8:1〕を行うミュージアム機能とともに、「喜多方らしくラーメン丼を御神体に見立てた御飯屋（おかりや）や割り箸をイメージしたユニークな鳥居モニュメントが設置」〔第十回新聞一面〕され、今では常設展示として喜多方観光の名所の一つとなっている。なおこれらのオープンにともない、上述の「諏訪神社御飯屋」と「巨大鳥居」の企画がなくなっていることから、レトロ横丁のシ

2) ただし第六回の『レトロ新聞』には「7月1日よりふれあい通り商店街で再び常設公開されている「昭和レトロミュージアム」1号館及び2号館」〔第六回新聞二面〕とあり、継続的な公開は難しかったようである。また第十四回の『攻略図』には「昭和レトロミュージアム」の名前が見当たらず、また「日中線&鉄道ミュージアム&Nゲージ」企画の開催場所が「旧レトロミュージアム」とあることから、「昭和レトロミュージアム」も第十三回を最後に閉鎖されたようである。

ンボルとしての役割もこの新しい神社とミュージアムに引き継がれたと言えるだろう。

4 飲食系企画, その他企画

お祭りと言えば食べ歩きや酒宴などの飲食も魅力の一つであるが、表9はレトロ横丁での主な飲食系企画を一覧にしたものである。表からわかるように、レトロ横丁ではその初期から商工会議所青年部や各商店街、地元の学校などによる飲食系企画が見られたが、第六回以降はある一角を飲食エリアとする企画が盛んとなった。

たとえば「喜多方ちょうちん横丁」(第六～十四回)は、「約1間幅の屋台を提灯で飾りつけ、屋台横丁のような賑わいを創出し、会場はもちろん街なか全体の回遊性向上を狙う」[第六回新聞三面]企画である。このちょうちん横丁では、ハイボールや生ビール、ホッピーなどのアルコールはもちろん、「串かつ、芋けんぴ、串焼き、牛串、鶏モツ、くりから、コロツケ、イカ焼き、らーめん焼きそば、玉こんにゃく、夏野菜」[第七回新聞三面]などを味わうことが出来、筆者が参加した第十三、十四回では、日が暮れてからもっともにぎわうエリアとなっていた。

一方、「ザ・ゴールデンマーケット」(第五～十、十二～十四回)は、段階的にフードコート的な内容となっていく企画である。『攻略図』には各企画に【買】【食】【観】等、企画の性質に合わせたマークが付けられているが、第五回のこの企画には【買】のみが付けられ、「地元喜多方の伝統工芸品や特産品をはじめ、米沢市の物産展」[第五回攻略図]を行う企画となっていた。しかし第六回～第十回には【買・食】が付けられ、「かき氷やところてんなど夏にぴったりの食のブースや奥州市の特産品PR、焼印販売など」[第六回攻略図]を行う物産兼飲食コーナーになり、第九回以降は「米沢、宮城、仙台、秋田など各地のご当地グルメ」[第九回攻略図]も提供されるようになった。そして第十二回以降は【食】のみとなり、攻略図の説明も「中央エリアの喜多方ちょ

表 9 飲食系企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 乗すたるじい駅「立ち食いラーメン」	<input type="checkbox"/>													
○ 喜多方ラーメン試食屋台		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 仲町商店街「味の横丁」	<input type="checkbox"/>													
○ 仲町商店街「炭焼亭」		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
○ 中央通り商店街「味の天国」	<input type="checkbox"/>													
○ 下町南部商店街「味の天国」	<input type="checkbox"/>													
○ 下町南部商工振興会「味の横丁」				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
しもん活性化協同組合「味の横丁」													<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ おなががい空いたら「露店コーナー」	<input type="checkbox"/>													
○ 蔵シックピアホール（喜多方菓子蔵横丁）	<input type="checkbox"/>													
○ 商工会議所青年部レトロピアホール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
○ 商工会議所青年部レトロカフェ		<input type="checkbox"/>												
○ 商工会議所青年部「昭和食堂」					<input type="checkbox"/>									
○ 喜多方ちょうちん横丁						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 大衆グルメ「青空市場」								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
○ 青空マーケット横丁											<input type="checkbox"/>			
○ ザ・ゴールデンマーケット（物産展）					<input type="checkbox"/>									
ザ・ゴールデンマーケット（物産と飲食）						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
ザ・ゴールデンマーケット（飲食）												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 蔵シック JAZZ 喫茶			<input type="checkbox"/>											
○ NPO 法人フォルテお菓子販売						<input type="checkbox"/>								
○ 青春酒場「塩川屋」							<input type="checkbox"/>							
○ 山都そば萬長												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 米沢商業高校「米しょっぶ」		<input type="checkbox"/>												
○ 米沢商工会議所青年部ブース		<input type="checkbox"/>												
○ 米沢市観光物産協会ブース		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
○ 喜多方商業高校（桐桜高校）物販ブース		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 喜多方商業高校「かでな」ファーム		<input type="checkbox"/>												
○ テクノカレッジ／アカデミー会津ブース				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
○ 飯豊山ボンバーズ物販ブース														<input type="checkbox"/>

企画合計 27

うちん横丁に負けず劣らず豊富な飲食メニューが目白押し!」[第十二回攻略図]と、食べ歩き専用のエリアとなっていたことがわかる。

その他にも第八～十回には「大衆グルメ「青空市場」」が登場した。この企画は「県内や隣県、遠隔地からのご当地グルメが一堂に集結。中には被災した宮城県沿岸地域からの出店もあり、被災地応援と被災地域の食の魅力を伝える機会となり、終日賑わいを見せた」[会議所 2012. 8: 1]「震災以降原発事故による風評被害に苦しむ当県の復興支援・応援として近隣県を中心にご当地グルメが大集結!」[第十回新聞四面]と紹介されているように、復興支援をテーマに、海産物やご当地グルメを中心としたフードコーナーとして企画されたものであった。なお第九、十回には活魚のつかみ取りやマグロ解体ショーなどの食に関わるイベントも企画され、レトロ横丁を盛り上げた。

第十一回には「青空マーケット横丁」が開催されたが、内容を見ると「エゴマ豚惣菜や鶏モツ、ハムカツ、肉巻おにぎりや牛串、玉こんにゃくなど」[第十一回新聞三面]の提供とあることから、「ザ・ゴールデンマーケット」と「青空市場」を合わせたような企画であったと思われる。

第十二回以降、これらフードコートの企画は「ザ・ゴールデンマーケット」のみとなったが、その内容を見ると「米沢牛串焼やコロッケ、メンチカツに鮎の塩焼きまで、さらには地元学生によるブースも並びラムネやかき氷など」[第十四回新聞三面]とあることから、「ザ・ゴールデンマーケット」には「青空市場」の内容も引き継がれているようである。

これらの企画のほかにも、レトロ横丁には多種多様な企画が目白押しであるが、紙面の都合もあり、それらの企画については表10～13によりその変遷のみ提示することとする。

表 10 商店街ギャラリー企画, 商店街セール企画, バザー系企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 商店街「店絵」絵画ギャラリー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
○ 商店街「一店逸品」ギャラリー			<input type="checkbox"/>											
一店逸宝・店絵ギャラリー				<input type="checkbox"/>										
一店一宝・店絵ギャラリー					<input type="checkbox"/>									
一店一宝ギャラリー						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
○ ふれあい通り商店街フォトギャラリー									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
ふれあい通り商店街一店一宝ギャラリー												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 好評第3弾! 100円商店街				<input type="checkbox"/>										
○ 商店街サマーセール					<input type="checkbox"/>									
商店街お買い得セール						<input type="checkbox"/>								
○ ふれあい農産市場			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ ハイカラマーケット「粋」			<input type="checkbox"/>											
○ 昭和レトロ本舗			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
レトロ本舗ぶりけん屋・よろず屋				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ ハイカラ市場・ふわふわコーナー				<input type="checkbox"/>										
○ 喜多方名店街あらかると				<input type="checkbox"/>										
○ 我楽多市						<input type="checkbox"/>								
○ 喜多方六斎軽トラ市							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 昭和レトロ掘り出し市								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 喜多方手づくり市								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
○ 手づくり市&レトロのみの市											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 葉っぱ屋利久のお百姓市												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

企画合計 16

表 11 各種ちびっ子系、足水系企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 涼を求めて…水浴び場						<input type="checkbox"/>								
○ 仲町商店街振興組合「子ども広場」							<input type="checkbox"/>							
○ ちびっ子広場ミニ消防カート							<input type="checkbox"/>							
ミニ消防カート								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
ちびっ子広場水浴び場							<input type="checkbox"/>							
○ ちびっ子広場おもしろ自転車コーナー							<input type="checkbox"/>							
おもしろ自転車&乗り物コーナー								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
○ ふわふわコーナー					<input type="checkbox"/>									
ちびっ子広場フワフワコーナー							<input type="checkbox"/>							
巨大プールで水遊び！&フワフワ遊具											<input type="checkbox"/>			
フワフワ&プールちびっこ広場													<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 冷たい足水コーナー					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
冷た〜い足水													<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

企画合計 6

表 12 参加型企画、イベント企画、ショー系企画、音楽系企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ ゆかたで踊りま Show		<input type="checkbox"/>												
○ トレジャーハンティング		<input type="checkbox"/>												
○ ファッションピフォーアフター		<input type="checkbox"/>												
○ 縁台将棋			<input type="checkbox"/>											
○ ザ・レトロ娯楽広場											<input type="checkbox"/>			
○ レトロで合戦												<input type="checkbox"/>		
○ レトロで宝さがし「喜宝」								<input type="checkbox"/>						
○ めざせ！横丁マスター									<input type="checkbox"/>					
○ 巨大アートプロジェクト										<input type="checkbox"/>				
○ 吉本「★☆☆弁当座」レトロコント		<input type="checkbox"/>												
○ 喜多方ゆかた美少女コンテスト受付							<input type="checkbox"/>							
○ きたかた町着コレクション										<input type="checkbox"/>				
○ オールドみゅーじっくバンド		<input type="checkbox"/>												
○ 昭和音魂アコースティックライブ										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 昭和懐メロ青空歌謡ショー												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

企画合計 15

表 13 その他企画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 蔵シックあんどん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
○ 昭和 30 年代回顧（懐古）録	<input type="checkbox"/>													
○ はっと一息…「野点」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ 趣味の極み！植木市コーナー	<input type="checkbox"/>													
○ 会津型スライドショー		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
○ 出張！リサイクルショップ		<input type="checkbox"/>												
○ 出張！桐下駄ショップ！		<input type="checkbox"/>												
○ 伝統の太鼓台展示		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
○ あかべえイベントラリー PR ブース			<input type="checkbox"/>											
○ 僕らのホテル大作戦～あの日に帰りたい～			<input type="checkbox"/>											
○ お休み処			<input type="checkbox"/>											
○ rfc ラジオ福島サテライトブース				<input type="checkbox"/>										
○ きたかたシティ FM サテライトブース			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
○ グリーン・ツーリズムブース			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
○ AED 設置・体験コーナー			<input type="checkbox"/>											
○ 喜多方レトロ横丁オリジナルグッズ販売			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
○ GOGO！白鳥号乗車体験ゾーン				<input type="checkbox"/>										
○ きたかた子育てサポートセンター			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
○ レトロタイムトンネル			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>								
○ 直ちゃんのおもしろ百姓トーク						<input type="checkbox"/>								
○ 伝統のアメ細工“キャンディーズアート”						<input type="checkbox"/>								
○ 警察特殊車輛展示コーナー							<input type="checkbox"/>							
○ しんのすけの似顔絵屋							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
○ 真冬にタイムスリップ！雪室 PR 雪室活用実験 PR コーナー								<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				
○ 盲導犬と触れ合う“アイメイト協会”									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	
○ 昭和レトロなふれあい広場									<input type="checkbox"/>					
○ 自衛隊広場											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
○ ヒッピーでハッピーな絵画展											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
○ 人力車&ペロタクシー											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 青空ラジコン広場											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
○ 島三座敷蔵公開											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○ 福島阿波おどり協会阿波踊り体験教室												<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○ 出張！木之本漆器店														<input type="checkbox"/>

5 メインステージ企画

上記の企画のほかにも、レトロ横丁では「ふれあい通り」にあるスーパー「リオン・ドール 喜多方仲町店」の駐車場スペースに舞台を設営し、各種のステージ演目やセレモニー、表彰式、抽選会などが行われている。それらメインステージのスケジュールは毎回の『レトロ新聞』に掲載（第一回のみ『攻略図』に掲載）されており、それらの演目をまとめたものが表14、セレモニー、表彰式、抽選会をまとめたものが表15である。この表14を見ると、演目数(ただし「復活！レトロ仮装行列」「爆笑！レトロ仮装行列 PR ショータイム」「爆笑！レトロ仮装行列参加団体紹介」「仮装行列 ステージパフォーマンス」は一つの演目として計算)は45もあり、ステージ上で多種多様なパフォーマンスがおこなわれていたことがわかる。それではこれらの演目のうち、主なものを見ていこう。

「レトロ仮装行列」(第三～十四回)は「昭和レトロをテーマに」[会議所 2007.

表 14 メインステージ演目

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 復活！レトロ仮装行列			□	□	□	□	□							
爆笑！レトロ仮装行列 PR ショータイム					□	□	□							
爆笑！レトロ仮装行列参加団体紹介								□						
仮装行列 ステージパフォーマンス									□	□	□	□	□	□
○ 大道芸「ガマの油売り」石原コー	□		□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□
○ 大道芸「バナナの叩き売り」石原コー	□		□			□		□	□	□	□	□	□	□
○ 大道芸「チャンバラ Show-和」ショー					□	□								
○ 池田たかしの「コマのパフォーマンスショー！」					□									
○ 大道芸「太神楽」揚野バンリ						□								
○ ちんどん屋 華乃家ショー&練り歩き						□								
○ 大道芸「紙芝居」梅田和佐							□							
○ 昭和エンターテイメント「ザ・大道芸」										□				
○ 大道芸「けん玉ショー」伊藤佑介										□				
○ 大道芸「似顔絵パフォーマンス」桜小路富士丸										□				
○ 大道芸「和菓子ジャグリング」彦一団子										□				

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
○ 会津喜多方蔵太鼓	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
○ 会津喜多方桐桶太鼓・下駄アップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
○ 復活！山都町一の木地区レトロ盆踊り			<input type="checkbox"/>											
○ 喜多方祭囃子盆踊り保存会				<input type="checkbox"/>										
○ 太鼓台運行				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
○ 会津磐梯山庄助踊り（一般参加大歓迎）					<input type="checkbox"/>									
○ 福島阿波踊り協会 組踊りパフォーマンス													<input type="checkbox"/>	
○ 阿波踊り＆かんしょ踊り														<input type="checkbox"/>
○ きたかた音楽祭「小和田アキ子 レトロものまねショー」			<input type="checkbox"/>											
○ きたかた音楽祭「二丁目の夕焼けコンサート」			<input type="checkbox"/>											
○ きたかた音楽祭「昭和懐メロ歌謡ショー」 昭和懐メロ歌謡ショー			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 懐メロ演奏会			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
○ ヤングビーツ テケテケ Show				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ おやじバンド“ラストピース”					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
○ きたかたサウンドチャレンジ受賞者 “半澤智子” オンステージ						<input type="checkbox"/>								
○ 「KIRA☆GIRL」スペシャルライブ								<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
○ 昭和音魂アコースティックライブ										<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 東京カンカンリズム Show											<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
○ とちおとめ&小林進 昭和懐メロライブ												<input type="checkbox"/>		
○ 石原耕のウッ！たいまショ〜♪													<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ レトロモータークイーンコンテスト決勝		<input type="checkbox"/>												
○ レトロモーター Show パレード通過予定				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ 頑固親父の遊び塾「懐かし工作王」決定戦	<input type="checkbox"/>													
○ 吉本「★☆☆弁当座」レトロコント		<input type="checkbox"/>												
○ ひめさゆり一座「祝言めえの日」			<input type="checkbox"/>											
○ 吉本“ぺんぎんナッツ” オンステージ							<input type="checkbox"/>							
○ レトロ DE チャリティーオークション							<input type="checkbox"/>							
○ 喜多方ゆかた美少女コンテスト審査発表							<input type="checkbox"/>							
○ ふくしま八重隊ステージパフォーマンス									<input type="checkbox"/>					
○ 福が満開ふくしま隊ステージパフォーマンス										<input type="checkbox"/>				
○ きたかた町着コレクションファッションショー										<input type="checkbox"/>				
○ プロレス団体「W-1」特別 PR タイム											<input type="checkbox"/>			
○ コミックダンサーピン Q パフォーマンス												<input type="checkbox"/>		

表 15 セレモニー・表彰式・抽選会

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
オープニングセレモニー		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クローズセレモニー			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
喜多方ちょうちん横丁抽選会						<input type="checkbox"/>								
喜多方ラーメン神社&ラーメンミュージアム オープニングセレモニー										<input type="checkbox"/>				
思ひ出の七夕飾りコンテスト表彰式		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
思ひ出の七夕飾り・レトロ仮装行列コンテ スト表彰式			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				
爆笑！レトロ仮装行列コンテスト表彰式						<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
モーター Show 表彰式・英世ちゃんでレト ロなはしご酒抽選会			<input type="checkbox"/>											
英世ちゃんでレトロなレトロなはしご酒抽選 会 レトロモーター Show コンテスト表彰式					<input type="checkbox"/>									
レトロモーター Show コンテスト表彰式				<input type="checkbox"/>										
英世ちゃんでレトロなはしご酒抽選会				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>								

9：1]，有志の団体が懐かしの俳優やアニメ，アイドルに扮して会場を練り歩く企画である。第五回からはメインステージで「爆笑！レトロ仮装行列 PR ショータイム」が，第九回からは「爆笑！レトロ仮装行列ステージパフォーマンス」も行われるようになったが，これはステージ上で仮装したまま自己 PR や歌，ダンス，寸劇などを披露するものである。表 16 は一例として第五回の出場予定団体とパフォーマンスのタイトルをまとめたものであるが，この表からも各団体の意気込みを感じることができるだろう。また表 15 を確認すると，第三回より「レトロ仮装行列コンテスト表彰式」等の記述があり，仮装行列のコンテストも行われていたことがわかる³⁾。

3) ただし第八回は「今年より一部内容を変更し，各団体によるステージパフォーマンス及びコンテストこそ行わないものの会場を爆笑の渦に巻き込むことは必死」[第八回新聞二面]とあり，表 14 にも「レトロ仮装行列参加団体紹介」とのみあることから，この回はパフォーマンスやコンテストがなかったことがわかる。ただし第九回の『レトロ新聞』には「今年は各出場団体によるステージパフォーマンスも復活し」[第九回新聞二面]とあることから，第九回以降は再開されたことが確認できる。

表 16 第五回の出場予定団体とパフォーマンスのタイトル

喜多方市中央通り商店街振興組合	三太郎物語 ～昔話バージョン～
上高額オヤジーズ	ザ・ベストテン 今週の第一位!!
(有)曾我製麺	仮面ライダー
米沢市	上杉鷹山とその時代
新・もたろう物語	鬼の下駄アップ
(株)河京	昭和 30 年代のらーめん屋&ラーメン体操
会津北方小田付郷町衆会	赤塚不二夫アニメキャラクターシリーズ ～これでいいのだ編～
山形屋夢倶楽部+ブライダルユニオン福島	二人の愛がとれる「街の灯火」
郵便局	昔の郵便配達員
福島民報社	懐かしの大相撲 - 喜多方場所 -
喜多方ロータリークラブ キタロー 21	ゲゲゲの鬼太郎
喜多方警察署	水戸黄門
東北電力(株)喜多方営業所	ザ・ドリフターズ ひげダンス
喜多方地方広域市町村圏組合消防本部	喜多方消防組
喜多方市役所 A	セーラームーン
喜多方市役所 B	昭和のこめら
喜多方市役所 C	We are the world
会津ストリートダンス推進委員会	ソウル DE ダンス For M. J
鈴木 花子	昭和 40 年代の農家

また表 17 は毎回の『レトロ新聞』に掲載されていた、レトロ仮装行列への参加予定団体である。この表を見ると、地元企業が 10 チーム、地元団体が 9 チーム、喜多方市役所の各部門が 19 チーム（ただしチームの重複があると思われる）、郵便局、警察署、建設事務所、消防本部などの地元の公的機関が 4 チーム、その他 22 チーム（こちらも重複があると思われる）が出場しており、多種多様なチームが参加していることがわかる。

なおこのレトロ仮装行列もかつての喜多方の習慣が「復活」したものとされている。たとえば第三回の『チラシ』裏面の「復活！レトロ仮装行列」の項には「昭和中期年代に開催され、市民を楽しませていた仮装行列が約半世紀ぶりに復活！テーマはもちろんレトロ！アニメや映画など何が登場するかは乞うご期待！」とあり、酒樽や酒瓶に扮してまちを歩く当時の写真が添えられている。それゆえ七夕飾り同様、このレトロ仮装行列も、喜多方の過去と現在を繋ぐ象

表 17 レトロ仮装行列への参加予定団体

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
【地元企業】												
(有)曾我製麺	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
福島民報社(株)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
(株)福島銀行喜多方支店	<input type="checkbox"/>											
熱塩温泉山形屋夢倶楽部	<input type="checkbox"/>											
ほまれ酒造(株)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
東海林和宏と米沢市観光課			<input type="checkbox"/>									
(株)河京			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
山形屋夢倶楽部＋ブライダルユニオン福島				<input type="checkbox"/>								
東北電力(株)喜多方営業所				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
(株)東邦銀行喜多方支店						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【喜多方市役所】												
喜多方市商工課	<input type="checkbox"/>											
喜多方市総合政策部	<input type="checkbox"/>											
喜多方市保育所連合	<input type="checkbox"/>											
喜多方市観光課＆ゆかいな仲間たち	<input type="checkbox"/>											
喜多方市 5 チーム（名称不明）			<input type="checkbox"/>									
喜多方市 5 チーム（名称不明）			<input type="checkbox"/>									
喜多方市 5 チーム（名称不明）			<input type="checkbox"/>									
喜多方市 5 チーム（名称不明）			<input type="checkbox"/>									
喜多方市 5 チーム（名称不明）			<input type="checkbox"/>									
喜多方市役所 A				<input type="checkbox"/>								
喜多方市役所 B				<input type="checkbox"/>								
喜多方市役所 C				<input type="checkbox"/>								
喜多方市役所生涯学習課					<input type="checkbox"/>							
喜多方市山都総合支所・産業課						<input type="checkbox"/>						
喜多方市役所・新採チーム						<input type="checkbox"/>						
喜多方市役所観光交流課 A					<input type="checkbox"/>							
喜多方市役所観光交流課 B					<input type="checkbox"/>							
喜多方市役所・観光交流課						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
喜多方市観光交流課・喜多方観光物産協会										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
【公的機関】												
喜多方郵便局	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
喜多方警察署			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
喜多方地方広域市町村圏組合消防本部				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
福島県喜多方建設事務所				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【地元団体】												
喜多方市中央通り商店街振興組合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
会津北方小田付郷町衆会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
山都町商工会&山都総合支所	<input type="checkbox"/>											
(社)会津喜多方法人会青年部	<input type="checkbox"/>											
蔵のまち喜多方老麺会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
喜多方ロータリークラブ キタロー 21			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
会津ストリートダンス推進委員会				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
おたづき蔵通りわくわくフェスタ実行委員会					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
なせばなる秋まつり実行委員会							<input type="checkbox"/>					
【その他】												
ひめさゆり一座	<input type="checkbox"/>											
チームひめさゆり		<input type="checkbox"/>										
ボランティアひめさゆり会					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
米沢市	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
上高瀬オヤジーズ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
TEAM GO GO きたかた	<input type="checkbox"/>											
ザ・新選組チーム	<input type="checkbox"/>											
新・ももたろう物語			<input type="checkbox"/>									
鈴木 花子			<input type="checkbox"/>									
あいべ				<input type="checkbox"/>								
グリーンツーリズムめんこいくらぶ						<input type="checkbox"/>						
ドリッパーズ（樟山コーフィ店）							<input type="checkbox"/>					
ふくしま八重隊（特別出演）							<input type="checkbox"/>					
歌って踊って 834（発散し）隊							<input type="checkbox"/>					
RDS								<input type="checkbox"/>				
EMOTION									<input type="checkbox"/>			
あら？アラ！アラベスク									<input type="checkbox"/>			
手代木家									<input type="checkbox"/>			
リンダになりきり隊										<input type="checkbox"/>		
めっちゃ！昭和になりきり隊											<input type="checkbox"/>	
NPO 法人喜多方子ども劇場												<input type="checkbox"/>
なんちゃってアイドルズ!?												<input type="checkbox"/>

微的な演目と言えるだろう。

「ガマの油売り」(第一, 三～五, 七～十四回)「バナナの叩き売り」(第一, 三, 六, 八～十四回)は、大道芸人の「石原コー」氏による大道芸のパフォーマンスである。石原コー氏はこの他にも「大道芸「チャンバラ Show-和」ショー」(第五, 六回)にも演者として出演したり, 「石原耕のウッ! たいまショ〜♪」(第十三, 十四回)というワンマンライブショーも披露している。さらに「自身もレトロカーを愛車とし」[第七回新聞三面] ビンテージカーにも造詣が深く, 筆者が見学した第十三, 十四回では「レトロモーター Show」のパレードがメインステージ前を通過するさいにも手慣れた様子で司会と解説も務めており, 以前からこの司会・解説役として活躍していたようであった。またメインステージでは多くの大道芸やパフォーマンスが行われているが, 以下の『レトロ新聞』に「今年は石原耕氏の大親友, 池田たかし氏」[第五回新聞二面]「石原氏が推薦する3名の大道芸人」[第十回新聞二面]とあるように, その多くが石原氏の知人や推薦によるもののようである。このように八面六臂の活躍を見せる石原氏は, 「喜多方レトロ横丁大道芸イベントの火付け人」[第七回新聞三面]であり, 「もはやこの顔なくしてレトロ横丁は語れない! …(略)…レトロ横丁のスペシャルサポーターと言っても過言ではない」[第十回新聞二面]人物となっている。

また『レトロ新聞』にはしばしば「ちんどん屋参上」[第三回新聞表面]等の記載が見られることから, 以前からちんどん屋が登場していたようであるが, 特に近年では「早稲田ちんどん研究会「風街宣伝社」」[第十三回新聞一面]が来場し, 会場全体を練り歩き, レトロな音色に包んでいる。

これら大道芸のほかにも, メインステージでは伝統芸能やコンサートも盛んである。たとえば「会津喜多方蔵太鼓」(第一, 二回)「会津喜多方桐桶太鼓・下駄アップ」(第一～三回)「復活! 山都町一の木地区レトロ盆踊り」(第二回)「喜多方祭囃子盆踊り保存会」(第三回)「太鼓台運行」(第三, 四回)「会津磐梯山庄助踊り(一般参加大歓迎)」(第四回)はいずれも喜多方の伝統芸能であり,

第四回まではメインステージで毎回披露されていた。また第十三回からは阿波踊り協会による「福島阿波踊り協会 組踊りパフォーマンス」(第十三回)「阿波踊り&かんしょ踊り」(第十四回)も行われている。

一方、第三回には「きたかた音楽祭」[第三回新聞表面]と銘打たれた「小和田アキ子 レトロものまねショー」「二丁目の夕焼けコンサート」「昭和懐メロ歌謡ショー」や、「懐メロ演奏会」(第三～六回)が開催されたが、それらを皮切りに、第四回以降、「ヤングビーツ テケテケ Show」(第四～十四回)「昭和懐メロ歌謡ショー」(第四～十四回)「おやじバンド“ラストピース”」(第五～八回)などの音楽系の演目が登場するようになった。また近年ではアコースティックギターでの弾き語りである「昭和音魂アコースティックライブ」(第十, 十三, 十四回。ただし第十三, 十四回は「音魂特別ステージ」という演目名で登場)や、「大正浪漫…昭和初期…戦前歌謡曲, 戦前スウィングなど和洋折衷な旧き良き音楽を楽しく陽気に奏で」[第十一回新聞一面]る「東京カンカンリズム」(第十一, 十二回)など、幅広い年代のレトロミュージックも登場するようになった。なおこの「東京カンカンリズム」は「メンバーで喜多方市出身・ウッドベース担当の大関雄士氏の故郷凱旋ライブ!」[第十一回新聞一面]であり、その他、喜多方のご当地アイドルである「KIRA☆GIRL」のライブ(第八, 十, 十一回)や「きたかたサウンドチャレンジ受賞者“半澤智子”オンステージ」(第六回)など、喜多方に縁のあるミュージシャンによる演奏も行われた。

この他にもメインステージではレトロモーター Show 関連のプログラムやNHK「八重の桜」にちなんで結成された「ふくしま八重隊」のステージパフォーマンス(第九回), 八重隊を引き継ぐ「福が満開ふくしま隊」のステージパフォーマンス(第十回), 「乃木坂46」のオーディション企画「ゆかた美少女コンテスト IN 喜多方」[第七回新聞二面]の審査発表会なども行われ、会場を盛り上げた。

6 まとめーレトロ横丁の変容

以上、合計182企画、メインステージ演目45、総計227の企画・演目の概要と変遷を見てきた。最後に、これらの企画の変遷を整理しつつ、他の資料も補足しながら、レトロ横丁全体の変容を確認していこう。

第一に、レトロ横丁は当初、昭和30年代を題材にした企画が中心だったものの、次第にさまざまな年代をイメージさせる企画が増加していくことで、より幅広いスパンのレトロをテーマにしたイベントとなりつつある。

レトロ横丁はもともと「昔懐かしい昭和30年代をキーワードとした空間を創出」[会議所2005.4:4]することで観光客を誘致する、サウンドチャレンジの「前夜祭」としてスタートした。それゆえレトロ横丁初期に見られた「懐かし紙芝居」や「無料! ドン菓子コーナー」「駄菓子屋「ばんちゃ店」」などの企画は「昭和30年代らしさ」を演出する工夫の一つであったと言えるだろう。しかしそれらの企画の多くが第五、六回頃から姿を消し始め、近年では大正から昭和までをカバーする「東京カンカンリズム」(第十一、十二回)や昭和後期のバブル時代を彷彿とさせる「レトロ DE ナイトフィーバー」(第十~十四回)など、より幅広い年代をイメージさせる企画が現れてきた。また映画の上映企画を見ても、昭和の名画を上映していた「シネマ広場」は、第六回からは昭和中期~後期の子供向けアニメやバラエティの上映企画へ、そして第九回からは昭和後期に流行した電子ゲームとのコラボ企画へと引き継がれていったが、この変遷からもレトロのスパンが拡大している様子が見て取れるだろう。

このスパンの拡大は、レトロ横丁の『ポスター』や『チラシ』、『レトロ新聞』の記述からも確認できる。たとえば初期の『ポスター』と『チラシ』には、「昭和三十年代へタイムスリップ」[第一回ポスター・チラシ]「日本中が活気に満ち溢れ、夢と希望を抱き続けた昭和三十年代…」[第二及び第三回ポスター・チラシ]といったキャッチコピーが付けられていたが、第一回のポスター・チラシをリメイクした第十回を除いて、以降は「昭和三十年代」というキーワー

ドは薄れていった。一方で、第四回には「空前絶後の昭和浪漫」[第四回ポスター・チラシ]、第五回には「永遠の昭和ノスタルジー」[第五回ポスター・チラシ]という文言が登場し、以降、この二つがレトロ横丁を表すキャッチコピーとなっていく。これらの変化からも、「レトロ」がイメージされる期間が昭和30年代から昭和時代全体へと拡大していったことがわかる。さらに第十二回には「喜多方レトロ横丁 5つの掟」[第十二回新聞一面]が発表され、その第一が「レトロな演出にこだわること」[第十二回新聞一面]となっていることから、レトロ横丁が「昭和」をキーワードとしつつも、大正・明治をも含めたさらに広いスパンのレトロをテーマにしたイベントとなりつつあることがわかる。

第二に、ミュージアム系企画が減少・統合していく一方、子ども向け、家族向け企画が盛んとなることで、レトロ横丁は観光客のみならず家族客もターゲットにしたイベントとなりつつある。

レトロ横丁は「市民はもとより観光客の方々に当市の古き良き時代を体験してもら」[会議所 2005. 4: 4]う、あいづ DC 関連の観光イベントとしてスタートし、当初は来場者に昭和30年代を体験してもらうミュージアム系企画が豊富であった。しかし表8をよく見ると、後に終了したり他のミュージアム系企画との合同企画となったものも少なくない。一方、回を重ねるにつれて、「こどもチャレンジランキング」(第十一～十四回)や各種の「ちびっ子広場」, 「フワフワ」(空気を入れた巨大なぬいぐるみの中で遊ぶ子供向けアトラクション)等の子ども向けの企画や、「ちょうちん横丁」(第六～十四回)「ゴールデンマーケット(飲食)」(第十二～十四回)など、家族や仲間内での食べ歩きや酒宴を楽しめる企画が充実していった。これらの変遷からは、レトロ横丁が、昭和レトロを見学・体験しにやってくる観光客のみならず、レトロ横丁という場そのものを楽しむ人々をも惹きつけるイベントとなっていく過程がうかがいあがるだろう。

さらにポスター・チラシからは、レトロ横丁で想定されている来場者が、個

別・少人数の観光客から祖父母・親・こどもの三世代家族に移行しつつある様子もうかがえる。たとえば「記憶の片隅に眠る『あなただけの忘れ物』が きっと見つかるはずです…」[第二回ポスター・チラシ]「この夏… 僕らはきっと少年になる…」[第五回ポスター・チラシ]、「あの頃… 僕らはみんな ヒーローだった…」[第六回ポスター・チラシ]とあるように、初期には来場者が「あなた」や「僕ら」で示されるような個々人——特にかつての少年たちである中高年男性たち——としてイメージされていた。しかし第九回のチラシには「またあの頃がやってくる！家族みんなでレトロ横丁♪」[第九回チラシ]というキャッチコピーとともに、レトロなちゃぶ台を囲む三世代家族のそれぞれが、レトロ横丁を心待ちにするセリフを述べているマンガ風のイラストが描かれていた。また『レトロ新聞』一面の冒頭記事には毎回、レトロ横丁の意義や概要が述べられているが、八回を過ぎた頃から「子供から大人まで来場者を楽しませる」[第八回新聞一面]「この夏も家族みんなで喜多方レトロ横丁へ出かけよう！」[第十二回新聞一面]と、レトロ横丁が全年齢層の家族向けイベントとして紹介され始めるようになった。この記述の変化からも、レトロ横丁が家族客を取り込みつつある様子がうかがえるだろう。

第三に、レトロ横丁は歴史的な各種資源を継承するのみならず、現代的な各種資源を活用する地域イベントとなりつつある。

レトロ横丁の当初の目的の一つが「魅力ある観光資源の再発掘」[会議所2005. 4: 4]であり、「七夕飾り」や「レトロ仮装行列」、シネマ広場の「銀星座」等の企画は昭和中期と現代の喜多方を結び付けるシンボルであると同時に、喜多方の伝統の中から掘り起こされた地域資源・観光資源であった。一方、「地酒屋台「醸し家」」(第十～十二回)「喜多方 SAKE 万国博覧会」(第十三, 十四回)は近年、クローズアップされ始めた喜多方の地酒を、「喜多方ラーメン神社&ラーメンミュージアム」もラーメンという喜多方の名産をテーマにしたものであり、喜多方の現代的な地域資源・観光資源を活かした企画と言えるだろう。この他にも「東京カンカンリズム」(第十一, 十二回)のメンバ

ー・大関雄士氏や「レトロ DE ナイトフィーバー」のDJ・RYUHEI THE MAN氏は喜多方市出身であり、レトロ横丁ではこれら喜多方が生んだ人的資源も積極的に取り入れ始めている。この変遷からは、レトロ横丁が伝統的な資源の発掘のみならず、現代的な資源の発掘と展開の場となりつつあることが読み取れる。

以上、これらの変遷から、レトロ横丁は「レトロ」をゆるやかなテーマとしつつ、観光客のみならず家族客を楽しませ、喜多方が生み出した各種の資源を継承・発展させる場となりつつあると言えるだろう。

おわりにー今後の課題

最後に今後の課題を示して、本論を締めくくろう。

筆者はすでにレトロ横丁の実行委員長やあいづDC時の関係者の方々へのインタビューを開始しているが、今後は本論の成果を下敷きに、さらに多くのレトロ横丁の関係者やまちの方々へのインタビューを通じて、レトロ横丁開催のより詳しい経緯や、その後の変容の過程を主催者側や来場者側の視点から描いていきたい。

またレトロ横丁は次第に昭和30年代から昭和全体、そして「レトロ」全体を視野に入れることで、あらゆる世代のノスタルジーを呼び起こすイベントへと成長した。一方、1970年代から現在まで、いかにして「昭和」という時代に対するノスタルジーが形成されていったのかを、主にメディア史を通じて明らかにした高野は、「「ALWAYS」後に起こった昭和ノスタルジーブームは昭和三十年代だけではなく、昭和四十年代や五十年代を含んでいたし、多様な世代が多様な感性でコンテンツを生み出すものだった。ブームは昭和三十年代ノスタルジーを中心としつつも、広がりをもっていたのである。」[高野2018: 305]と指摘している。

この指摘を受けて改めてレトロ横丁における「昭和三十年代」について見てみると、それが当初からかなりの幅をもっていた様子がうかがえる。たとえば

レトロ横丁初期の企画のモチーフになった文化やアイテムが、厳密に昭和30年代のものか否かは、一つ一つ検討すべきであろう。同様に、「レトロミュージアム」の展示物の多くは、第一回開始前に『会議所だより』にて「皆様が所有されている“昔懐かしいレトロ品”を募集しております！昔懐かしいホーロー看板、ブリキの玩具、生活雑貨、電化製品、乗り物、写真、ポスター、雑誌、レコード等々懐かしい品物であればジャンルを問いません！」[会議所2005.4:4]と市民に呼び掛けて収集されたものであり、それらは必ずしも昭和30年代の品々に限定して募集されていたわけではなかった。

それゆえレトロ横丁では昭和30年代をキーワードとしつつも、そのはじまりから懐かしさを感じられる「昭和的なもの」全般をテーマとするイベントだったと言えるかもしれない。しかしながら、レトロ横丁は当初、自らを昭和30年代を再現するイベントとしてアピールしていたものの、後には「永遠の昭和ノスタルジー」を堪能するイベントへと定義し直していることもまた事実である。そしてその再定義には、「昭和レトロブーム」[高野2018:254-290]という2000～2005年に流行したムーブメントを取り込みつつも、独自の「喜多方レトロ」へと積極的に加工していく過程が垣間見える。そこで今後は、この喜多方における「レトロ」の創造的なローカリゼーションの過程も明らかにしていきたい。

さらに高野によれば、昭和生まれの世代も平成以降に生まれた世代も、ともに感じる「昭和」への懐かしさとは、実は1970年代以降、各年代層や多様なサブカルチャーの中で熟成されてきた「個人的な懐かしさを超えた、社会的な懐かしさ」[高野2018:271]であり、集合的記憶としての「昭和」であるという。今後は「永遠の昭和ノスタルジー」を掲げるこのレトロ横丁が、企画・イベントを通じてこの集合的記憶としての「昭和」を再生産させていく過程や、さらには高野曰くの「いま出会う昭和」[高野2018:356]、すなわち「「いまここにいる自分」を楽しむためのきっかけや素材としての過去」[高野2018:357]としての、新しい時代の「昭和」イメージをも生み出していくダイナミッ

クな過程を、フィールドワーク、あるいは参加者の一人として関わりつつ明らかにしていきたい。

これらの探求を通じて、この長期的な大規模イベントからイベントを通じたまちづくりやネットワークづくり、人材育成、そして新しい時代のノスタルジーのあり方を学ぶことが、今後の筆者の課題である。

参 考 文 献

『SED アマチュアプロレス』HP <http://sedprowrest.web.fc2.com/> (2019年3月28日閲覧)
高野光平, 2018, 『昭和ノスタルジー解体:「懐かしさ」はどう作られたのか』, 晶文社

一 次 史 料

会津喜多方商工会議所『会議所だより』第415号(2005. 2), 第417号(2005. 4), 第418号(2005. 5), 第419号(2005. 6), 第422号(2005. 9), 第434号(2006. 9), 第446号(2007. 9), 第454号(2008. 5), 第459号(2008. 9), 第470号(2009. 8), 第482号(2010. 8), 第495号(2011. 8), 第507号(2012. 8), 第519号(2013. 8), 第532号(2014. 8), 第544号(2015. 8), 第556号(2016. 8), 第569号(2017. 8), 第581号(2018. 8)

会津喜多方商工会議所『平成17年度福島県あいづデスティネーションキャンペーン事業 喜多方レトロ横丁 ～昭和30年代へタイムスリップ～』

喜多方市総務部総務課『広報きたかた』No. 743(2005. 1), No. 744(2005. 2), No. 745(2005. 3), No. 748(2005. 6), No. 749(2005. 7)

第一～十四回喜多方レトロ横丁『チラシ』『ポスター』『喜多方レトロ横丁徹底攻略図』

第二～十四回『喜多方レトロ新聞』

謝 辞

本論の執筆に当たっては、喜多方市役所、会津喜多方商工会議所、そして喜多方レトロ横丁の関係者の皆様から、貴重な一次資料を提供していただいたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

なお本研究は松山大学2018年度特別研究助成の成果の一部である。